



医療系学部連携チームによる 地域参加型学習の効果と課題

インタープロフェッショナル・ヘルスケア教育

名古屋市立大学

医療系学部・研究科連携教育委員会

Allied Medical Education Committee (AMEC)



スタッフ紹介



● AMEC

- 医学部： 早野順一郎 木村和哲 浅井清文
 酒々井眞澄 大原弘隆 赤津裕康
 村上里奈
- 薬学部： 鈴木匡 中村克徳 川出義浩
- 看護学部： 明石恵子 加藤亜妃子

● 拡大AMEC

- 薬学部 ： 松永民秀
- 看護学部： 山本喜通 山田紀代美 香月富士日



医療を学ぶ学生になろう

- **高校生から大学生へ** 新しい学習スタイル
受け身の学習 → 自ら課題を発見し自分で学ぶ
- **医療を構成する一員** 医療人としての意識
爽やかさ，信頼性，率直な目差し
- **大学・地域社会の一員** コミュニケーション・出会い
学部，学年を超えた学生・教職員，地域社会

カリキュラムのアウトカム(学習成果)



Leaning Outcome

医薬看連携地域参加型学習の修了時まで身に付ける能力

- **課題解決型学習能力** (初年次導入教育)

地域社会のニーズを発見し、「学生なればこそできる」課題の解決ができる。

- **プロフェッショナリズム**

医療のプロフェッショナルとしての基本的な態度、行動がとれる。

- **チームワーク能力**

医・薬・看護学部混成チームの一員としてチーム力の向上に貢献できる。



●基本医療技能実習

医療人としてのスキルを身につける

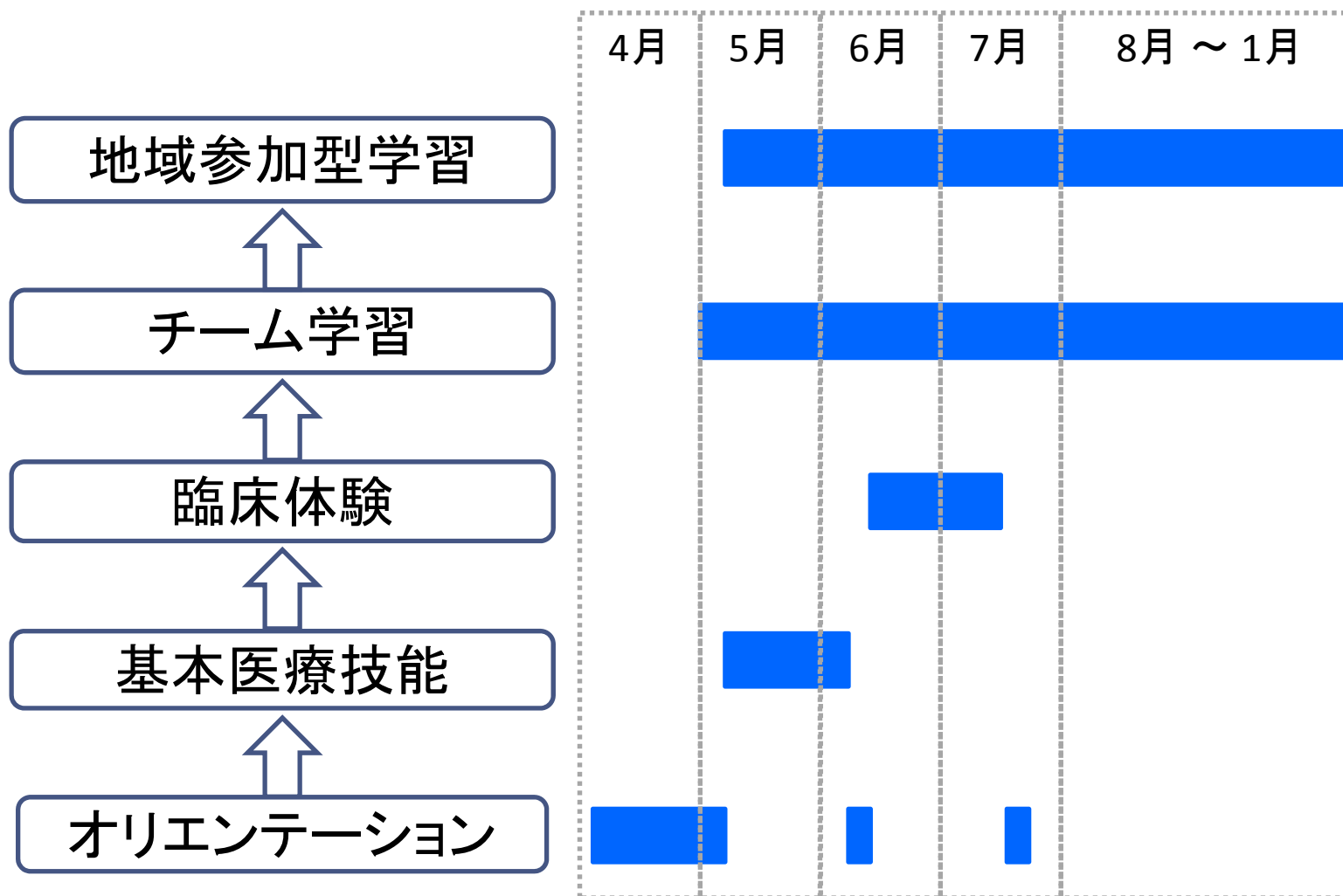
- チームワークの進め方
- 医療におけるコミュニケーション
- 一次救命処置

●臨床体験 医療の現場を体験する

●課題研究 地域での活動を通じて学ぶ

- 「医療系学部連携チームによる地域参加型学習」
現場の人たちとの出会いを通じ、医療の背景にある
地域社会を知る

学習スケジュール



医療系学部連携チームによる地域参加型学習



医・薬・看連携早期体験学習
オリエンテーション



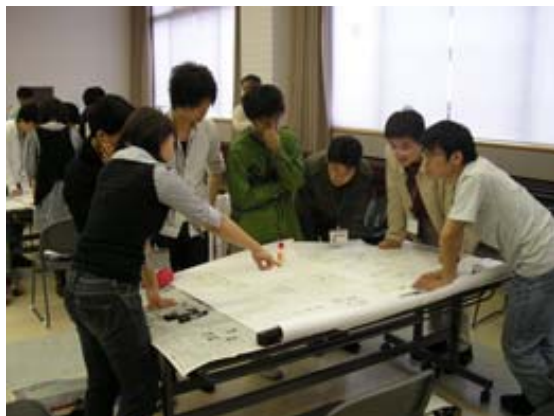
医・薬・看連携早期体験学習
基本臨床技能実習説明会



NAGOYAKA
MODEL

未来医療研究人材養成拠点形成事業 地域と育む未来医療人「なごやかモデル」 名古屋市立大学 名古屋学院大学 名古屋工業大学

基本医療技能実習



グループワーク KJ法



介護技能実習



医療面接 ロールプレイ



疑似高齢者体験



地域協力委員との活動計画WS



基本医療技能実習



医薬看合同カリキュラム



看護学部の実習室で看護の基本的スキルを体験。写真は患者さんの移乗・移送体験。ベッドからストレッチャーに移します。

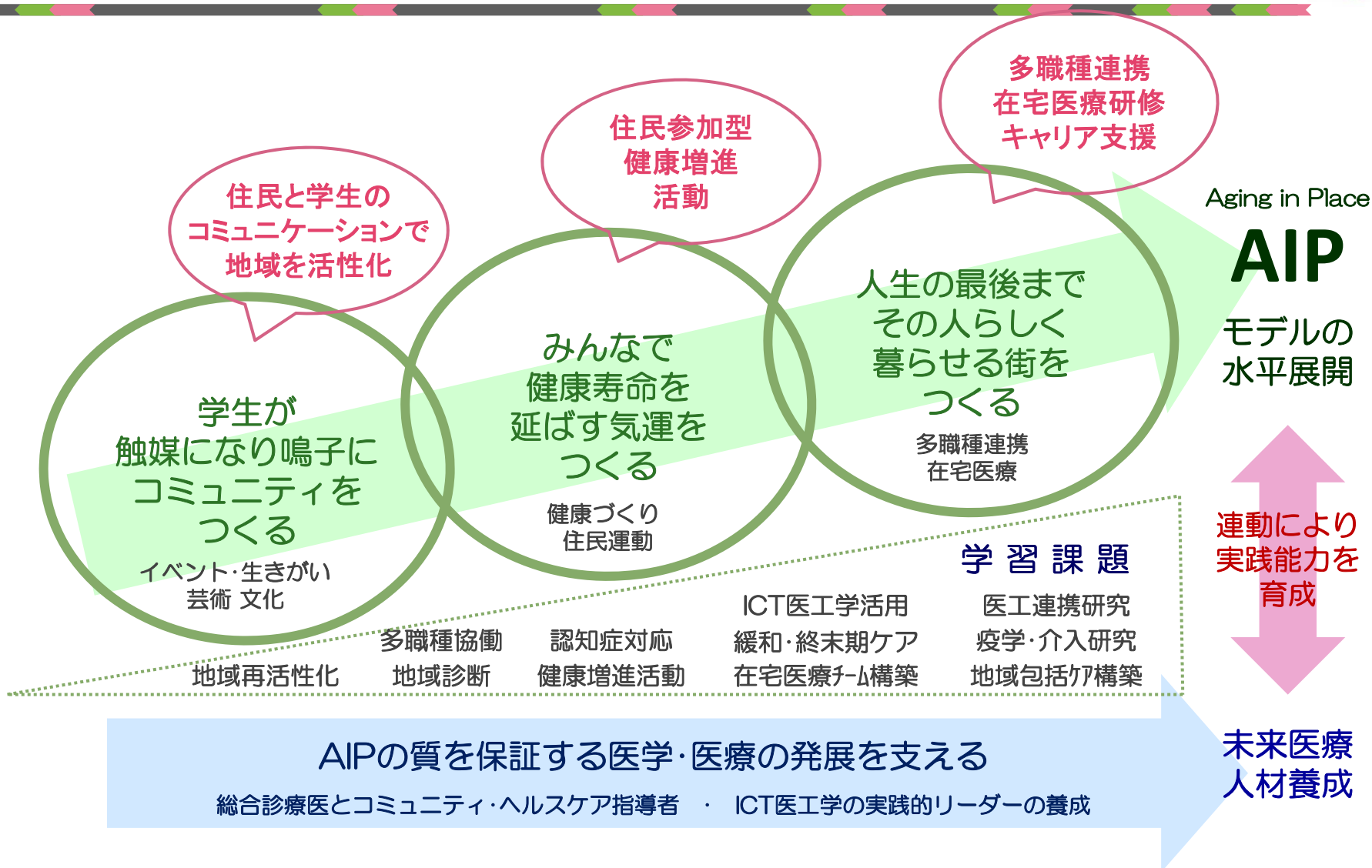


感染予防のための手洗い実習。安全な医療のために、確実な手洗いができたかどうか専用のテスターを使ってチェックします。

2008年度から開始された1学年前期の系別教養教育カリキュラム。医・薬・看護学部の1年生を対象に、数名ずつからなる小グループ活動を基本に医療系学部専門導入学習を行う。医・薬・看3学部合同で実施し、教員だけでなく、大学病院、近隣医療施設も含め、多くの方々の協力を得て実現した。カリキュラムの内容は、医療に関する講義、ボランティア論、医療面接のロールプレイ、医療場面で必要な基本的介護技術や心肺蘇生法の実習、医療現場体験、透析施設見学を実施するとともに、各グループが独自のテーマについて調査・研究を行い、カリキュラムの最後にその成果を発表する。



「なごやかモデル」プロジェクトの特徴





学生の地域参加によるコミュニティづくり

名市大医・薬・看護地域参加型学習が各地域で行ってきた住民との交流活動

- ◆ 交流サロン（コミュニティセンター、カフェ）
- ◆ 地域の祭りで、折り紙教室、風船ゲーム、脳トレクイズ
- ◆ 地域オリジナルの体操づくり
- ◆ ペットボトル安全キット作り
- ◆ 認知症劇の制作と公演
- ◆ みんなで合唱(学生演奏)
- ◆ 塩味覚閾値測定と血圧測定
- ◆ ロコモ機能のチェック
- ◆ 応急処置(テーピング、熱中症、餅の窒息の対応など)



地域参加型学習



独居お年寄り 交流カフェ 緑区鳴子団地に名市大生開店 「語らい楽しみ」と好評

高齢化が進む緑区の鳴子団地で、独り暮らしのお年寄りの交流の場にと、名古屋市立大の学生が「おひさまカフェ」を開いている。手軽な値段で飲み物を提供し、お年寄りには「知り合った人と語らうのが楽しみ」と好評だ。将来的には、団地の住人自身が支え合う地域づくりのため、スタッフを学生から元気なお年寄りへ引き継ぐことも検討する(中日新聞2012/10/03木下大資)。



学生の地域参加によるコミュニティづくり



たすけあい名古屋「おひさまカフェ」

- ◆ 鳴子団地の住民(特に一人暮らしの高齢者)の交流の場が少ない
- ◆ 平成24年に医・薬・看護学部の学生11名のチームが毎週日曜日に「おひさまカフェ」を開設
- ◆ オープン当初、ひとりで訪れる住民の間を学生がつないだ。次第に住民同士が顔見知り(常連)になり住民間にコミュニケーションが生まれた。
- ◆ 団地の住民ボランティアができ、学生がいなくてもカフェが運営されるようになった。



おひさまカフェ開店 2012年7月15日



住民ボランティアと 2012年12月2日



NAGOYAKA
MODEL

未来医療研究人材養成拠点形成事業 地域と育む未来医療人「なごやかモデル」 名古屋市立大学 名古屋学院大学 名古屋工業大学

医療系学部連携チームによる地域参加型学習



豊根村調査チーム



NAGOYAKA
MODEL

未来医療研究人材養成拠点形成事業 地域と育む未来医療人「なごやかモデル」 名古屋市立大学 名古屋学院大学 名古屋工業大学



● 形成的評価 学習の促進

■ 自己評価

- ・ チーム‘力’ 評価尺度

■ ピア評価

- ・ プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力
- ・ 調査・研究活動プレゼンテーション・チェックリスト

● 総括的評価 成績(可否)判定

■ 出席(8割、12回以上)

■ 無断欠席厳禁、無断遅刻・早退禁止

■ 自己管理能力(名札・身だしなみ・行動)

■ 期限内のレポート提出(臨床体験を通じての学び)

■ プレゼンテーション(資料、課題研究ポスター発表)

■ ポートフォリオ(期限、内容、提出方法)





- 課題解決型学習能力

「調査・研究活動プレゼンテーション・チェックリスト」
による学生ピア評価、教員・地域協力者による評価
学生は他チームのプレゼンテーションを評価

- プロフェッショナリズム

「プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力のピア評価」によるピア評価
自分以外のチームメンバー全員を評価(Web評価システム)

- チームワーク能力

「チーム’力’評価尺度」による自己評価
全員が自分のチームの状況と自分自身のチームへの貢献度を評価 (Web評価システム)

学習評価 地域参加型学習ポータルサイト



ccinfo.cc.nagoya-cu.ac.jp/amec/form.html
検索

学生専用サイト

～本校学生の方へのご案内～

For Student

書式フォーム ダウンロード

[最終更新日：平成27年4月24日]

「項目名」をクリックして、各種フォーマットをダウンロードして下さい。

フォーマットリスト一覧

項目名	作成日	更新日
2015カリキュラムの概要	2015/4/3	2015/4/3
課題研究（地域参加型学習）実施方法	2015/4/3	2015/4/3
2015フォーマット（6/5 活動計画）	2015/4/13	2015/4/17
2015フォーマット（10/5進捗状況発表会）	2015/4/13	2015/4/17
消耗品購入・宿泊時の手順	2015/4/24	2015/4/24
リーフレット最新版（ダウンロード用）	2009/12/14	2009/12/16
課題研究成果発表用テンプレート A. 学内ポスター発表用	2015/4/3	2015/4/3
課題研究成果発表用テンプレート B. 地域への報告書用	2015/4/3	2015/4/3

学生専用サイト

For Student

- ▶ トップページ（お知らせ）
- ▶ 書式フォーム ダウンロード

地域参加型学習Web

名古屋市立大学 医療系学部

- NC 医学部・医学研究科
- NC 薬学部・薬学研究科
- NC 看護学部・看護学研究科

公立大学法人
名古屋市立大学



NAGOYAKA
MODEL

未来医療研究人材養成拠点形成事業

地域と育む未来医療人「なごやかモデル」

名古屋市立大学

名古屋学院大学

名古屋工業大学

チーム力評価尺度(自己評価)



グループの現状	A1	A2	A3	A4	A5	A6	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	total
グループの研究課題は、明確になっているか	83	90	84	81	77	89	96	84	89	85	89	91	84	93	89	85	96	80	91	97	77	81	93	97	88	90	82	92	88
メンバーは、グループの研究課題を十分に理解しているか	80	86	82	86	78	85	96	80	88	87	85	90	79	92	85	85	91	79	89	96	83	81	90	93	87	91	78	90	86
メンバーの強みを生かした役割分担を行っているか	81	84	84	87	76	78	96	84	93	81	86	84	67	88	88	87	85	70	86	95	84	84	92	100	88	86	74	91	85
研究課題達成のためのスケジュールは、決まっているか	81	87	81	85	75	85	96	81	88	86	88	87	86	87	84	82	89	82	91	96	70	80	92	90	86	89	82	85	85
活動全体の進捗状況を確認する「時期、時間、方法」は、決まっているか	80	88	84	84	73	87	96	80	89	87	87	86	77	82	83	84	89	80	92	95	69	74	91	90	88	89	87	89	85
個々の活動計画の「目的と方法」は、決まっているか	80	86	85	85	75	86	96	80	88	83	87	85	81	83	85	88	91	77	90	95	73	78	93	93	90	86	87	90	86
個々の活動計画の「期限」は、決まっているか	80	85	84	82	75	82	96	78	89	87	87	82	79	83	82	82	90	82	91	93	74	79	89	90	89	84	79	88	84
個々の活動計画の「責任者」(担当者)は、決まっているか	78	87	88	83	83	84	97	80	92	84	91	80	67	93	89	85	92	75	89	96	75	87	89	84	90	85	80	87	85
個々の活動計画に必要な「情報」は、明確になっているか	81	88	84	85	77	84	96	80	88	85	87	83	72	81	86	79	92	74	88	95	76	79	92	91	89	85	80	89	85
メンバーは、自分の強みと弱みを正しく把握しているか	79	88	84	85	73	81	96	87	90	83	86	86	70	86	90	86	81	74	89	94	79	78	92	94	89	86	79	91	85
メンバーは、自分の課題を明確に持ち、継続的に学習しているか	80	86	84	84	72	78	95	79	88	77	83	84	64	86	86	84	87	72	91	91	77	76	91	88	89	86	81	89	83
メンバーは、困難な状況にあっても前向きに活動に取り組んでいるか	78	88	84	86	75	83	96	83	91	87	86	89	64	88	90	86	90	74	89	95	83	84	92	88	86	88	82	91	86
メンバーは、積極傾聴など周囲の気持ちを考えて行動しているか	80	87	78	89	83	84	97	89	91	79	86	87	70	88	89	85	89	73	87	94	82	82	92	89	89	84	77	91	85
メンバーは周囲と十分なコミュニケーションを取っているか	81	89	76	88	76	86	97	78	91	82	85	89	73	90	87	77	89	66	87	96	83	80	90	94	90	87	83	93	85
メンバーは、お互いに敬意を持って活動を行っているか	81	88	81	90	78	88	97	89	91	84	87	88	73	91	90	83	95	75	87	96	84	82	93	93	88	83	84	93	87
メンバーは、活動計画にどの程度参加していますか	80	86	79	84	74	87	96	84	92	78	82	91	66	86	84	85	87	71	81	94	87	81	90	88	88	82	83	91	84
あなたのチームへの参加度(貢献度)は	82	84	66	78	77	77	93	85	90	85	85	88	64	83	89	79	90	76	89	85	74	81	91	90	87	82	82	88	83



プロフェッショナルリズムピア評価

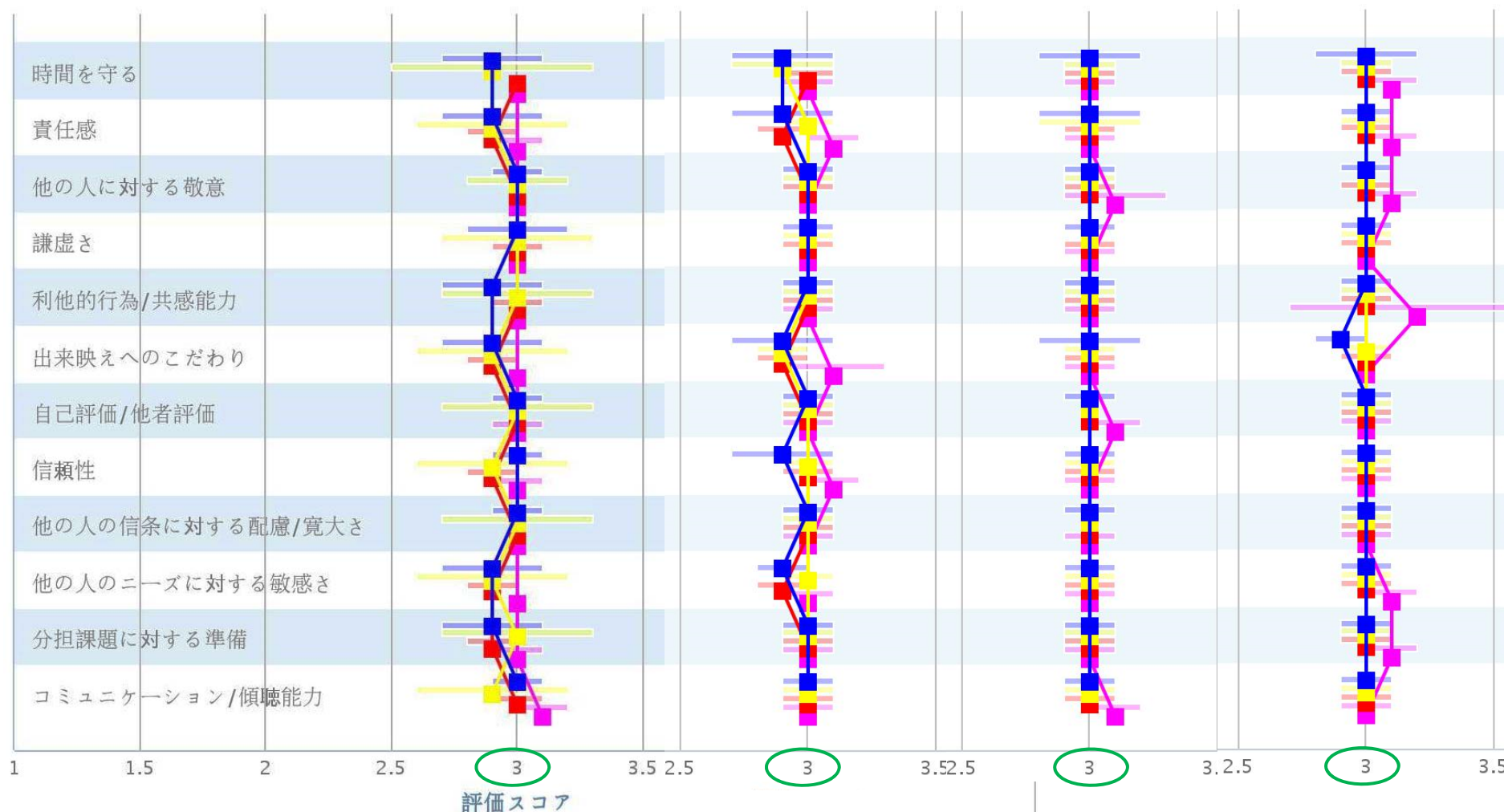


2015年6月

2015年7月

2015年9月

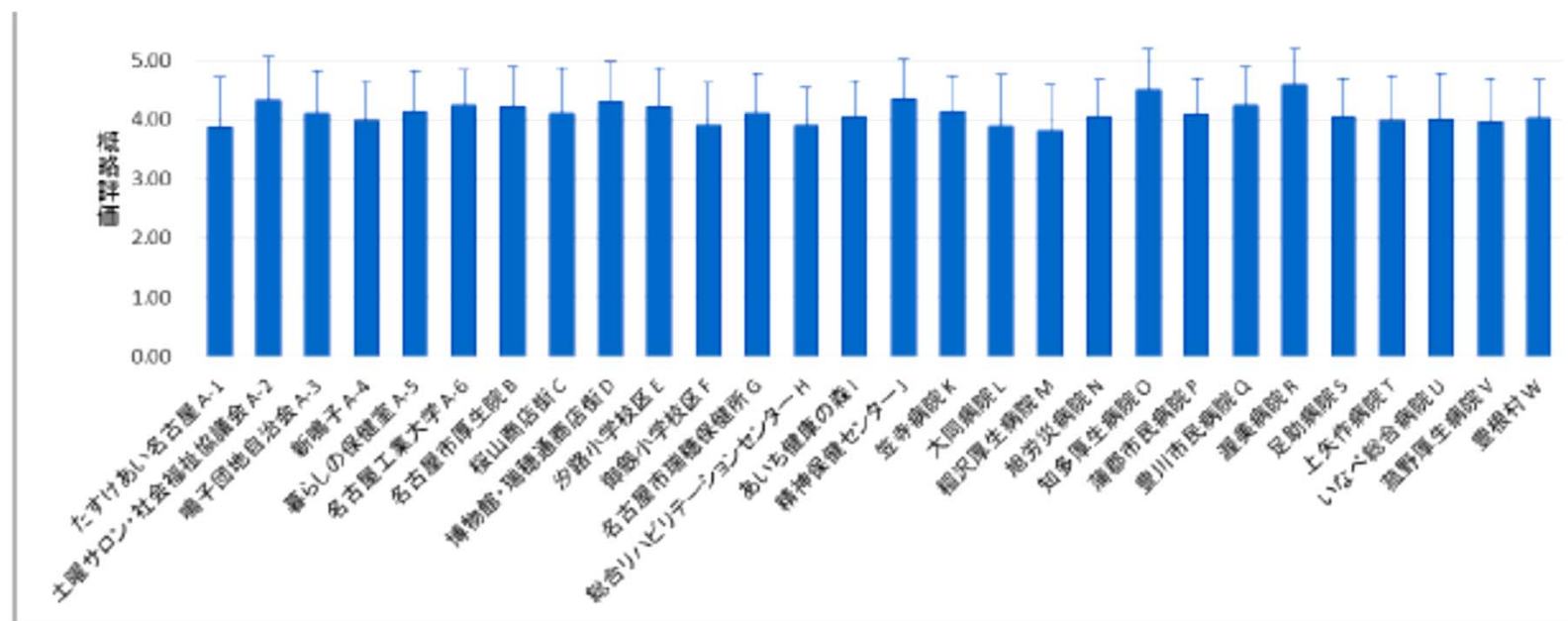
2015年11月



■ 医学部(平均) ■ 医学部(標準偏差) ■ 薬学部(平均) ■ 薬学部(標準偏差) ■ 看護学部(平均) ■ 看護学部(標準偏差) ■ リハビリテーション学部(平均) ■ リハビリテーション学部(標準偏差)

名古屋市立大学 名古屋学院大学 名古屋工業大学

地域参加型学習成果ポスター発表会



NAGOYAKA
MODEL

未来医療研究人材養成拠点形成事業

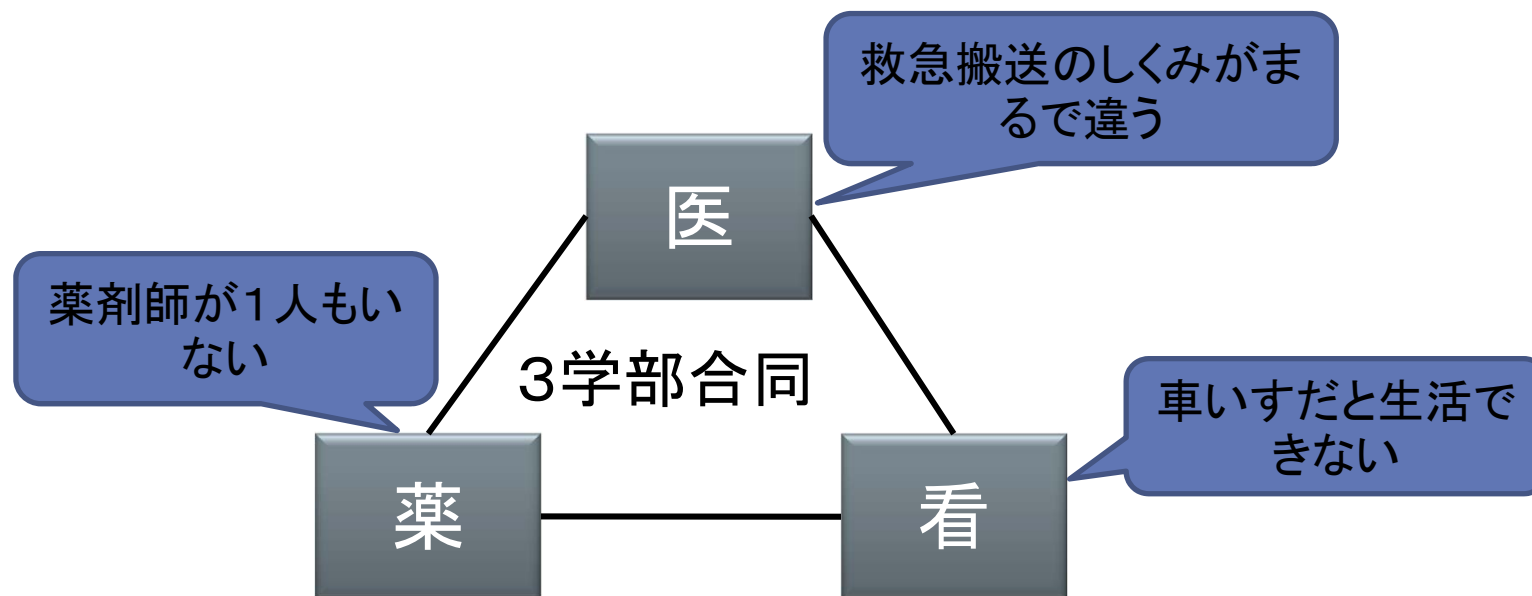
地域と育む未来医療人「なごやかモデル」

名古屋市立大学

名古屋学院大学

名古屋工業大学

医薬看連携チーム学習の効果



**注目する観点の
違い**



議論の幅が広がる

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/amec/>



NAGOYAKA
MODEL

未来医療研究人材養成拠点形成事業 地域と育む未来医療人「なごやかモデル」 名古屋市立大学 名古屋学院大学 名古屋工業大学

多職種連携教育の成果



多層的な多職種連携

レベル	連携活動の内容
学生・院生の 多職種連携	医療系学部間連携教育 医学部、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の 混成学生チームによる地域参加型学習 工学部大学院との連携活動
教員・指導者の 多職種連携	医療系学部・研究科連携教育委員会(毎週水曜) 医学部、薬学部、看護学部の教員によるmeeting 未来医療人材養成プロジェクト部会調整会議(隔週月曜) 名古屋市立大学(医・薬・看)、名古屋学院大学(リハビリテー ション学部、総合政策学科)、名古屋工業大学の教員、地域医療 機関の教育・研修担当者のmeeting
地域の専門職の 多職種連携	在宅医療推進多職種連携研修会 地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、ケアマ ネージャー、管理栄養士によるワークショップ研修会